

障スポで何ができる？

成和中で
公開授業
社説読み比べ、発表



福井しあわせ元気大会で、できることを書き出す生徒。28日、福井市成和中



NIE(教育に新聞を)
実践指定校の福井市成和
中で28日、公開授業が行
われた。2年2組の道徳
では、パラリンピックを
テーマにした2紙の社説
を読み比べ、来年の福井
しあわせ元気大会(全国
障害者スポーツ大会「障
スポ)に向け、「できるこ
と」を考えた。

二つの社説は、昨年の
リオデジャネイロ・パラ

リンピックを受け、それ
ぞれ「東京目指し競技力
向上を」「メダルより大
切なこと」の見出しが付
いていて、どちらの考え
を支持するか発表した。
生徒からは「障害者が
健常者と同じようにスポ
ーツができる社会をつく
ることが大事」「人はそ
れぞれ違いがあることを
理解するべきだ」などの
意見が挙がり、どちらの
社説も「障害者と健常者
の壁をなくすことが大
事」と訴えていることを
学んだ。
壁をなくすための一歩
として、来年の障スポで
できることや、やるべき
ことを班学習で話し合っ
た。ボランティアや応援
障害者スポーツ体験など
の意見が出ていた。内藤
匠さんは「障害がある人
も住みやすい社会になる
といいと感じた。障スポ
のボランティアにも参加
してみたい」と障害者や
共生社会に関心を高めた
様子だった。
(石井敬夫)